

| 教科〔社会歴史〕第〔2〕学年 | 年間指導計画 | |
|---|------------------|---|
| | 月 | 学習内容 |
| <p>* 到達目標</p> <p>(1)日本の歴史の流れと各時代の特色を、他の国との関わりの中で理解する。</p> <p>(2)歴史上の人物の生き方や現存する文化遺産の学習を通して、日本の伝統や自分の生き方について考える。</p> <p>(3)日本の歴史に見られる国際関係や文化交流について理解し、他の国の文化・生活に関心を持ち、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4)身近な地域の学習を通して、地域の歴史にも関心を持つと共に、適切な資料の収集・活用・表現する力を養う。</p> | 4 | |
| <p>* 評価の観点・方法</p> <p>①関心・意欲・態度（提出物＝ノート、ワーク、ファイル） 歴史的事象に対して興味・関心を高め、授業に積極的に取り組むとともに、課題などを通して意欲的に追求しようとする。</p> <p>②思考・判断（定期テスト） 歴史的事象の、原因・経過・結果に関する考察を通じて、日本の歴史の流れと各時代の特色を理解し、課題や問題点について説明できる。</p> <p>③技能・表現（定期テスト、冬休み課題） 課題などを通じて、学習に必要な資料を集めて活用し、まとめて発表できる。</p> <p>④知識・理解（定期テスト、夏休み明けテスト） 歴史的分野の学習に必要な基本用語を身につけ、日本の歴史の流れと他の国との関わりを理解している。</p> | 5 6 7 8 | |
| <p>* 使用教材</p> <p>教科書 新しい社会歴史 東京書籍</p> <p>資料集 グラフィックワイド歴史 広島県版 どうほう</p> <p>ワーク 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク 地理</p> <p>新しい社会 基礎・基本徹底ワーク 東京書籍 歴史5~6章 東京書籍</p> | 9 10 | |
| <p>* 学習上の注意・助言</p> <p>○授業道具を忘れない。</p> <p>○授業中、先生の説明をよく聞き、積極的に発言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言（質問）をする時は、挙手をして発言する。 ・みんなが聞き取れるような声で発言する。 ・発言を求められてわからない時は、「わかりません。」「もう少し時間を下さい。」などはっきり言う。 ・発言者の意見は最後まで聞く。聞き終えてから次の発言をする。 <p>○授業の中で、疑問に思ったことやわからないことがあれば質問する。</p> <p>○考える問題の時は、教科書や資料を活用して、自分の考えをしっかりと持ち、話し合いの場面では、自分の考えをはっきり言う。</p> <p>○授業の内容をノートに記録する。その際、板書だけでなく、先生の説明・自分の考えや授業の感想などもまとめておく。</p> | 11 12 1 | <p>第4章 近世の日本</p> <p>第2節 江戸幕府の成立と鎖国</p> <p>第3節 産業の発達と幕府政治の動き</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>導入</p> <p>①欧米の進出と日本の開国</p> <p>②明治維新</p> <p>③日清・日露戦争と近代産業</p> |
| <p>* 家庭学習の仕方</p> <p>○授業の前日に、家庭で教科書を読む。その際、わからない語句や用語があれば、調べておく。</p> <p>○授業後、興味をもったことについて調べ、ノートに記録しておく。</p> <p>○授業後、ワークを利用して基礎的な用語を覚える。覚えにくい事柄や漢字があれば、何回か書いて覚える。</p> <p>○定期テストの前は、教科書・ノート・ワークを利用して基礎</p> | 2 3 | |

的な用語を覚えると共に、歴史上の出来事の「原因」「経過」「結果」について説明できるようにしておく。また、それぞれの時代の資料から読み取り、その時代の特色を表現できるようにしておく。